

令和5年 1月 日

令和4年度 社内監査（事業者自己評価）

一般社団法人 あまね

○就業中の職員で評価を行いました。

- 1, よくできている。
- 2, まだ改善の余地があり満足できていない。
- 3, 改善の必要がある。
- 4, わからない

以上の4段階で評価しました。多数の職員が2・3と評価した項目については、改めて改善に向けての対策を検討しました。4と評価した項目については職員への実施状況を周知いたしました。
担当 一般社団法人あまね 堤 恵子

	評価者	管理者	徳永	寺崎	堤	山内	大賀	藤本雅	石隈	山崎	野田温	宮島	藤川と	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係上適切であるか	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> 増築に伴い現段階では評価が難しいが、今の状態だとやや狭いように考える 利用者様の利用人数で日によって手狭に感じる事がある。 	日中活動されているいーはとーぶは現在増築中。スペースの確保ができるよう今後も工夫して取り組んでいく。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> キャンセルがあり回っているが、職員がよりたくさんの方がみれるようになる必要があると考える 	現在夜勤ができる職員に限りがあるが、今後夜勤ができる職員増員の必要性はある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> 通路が狭いので車いすでぶつかったりとか事故が起こる 	日中活動されているいーはとーぶは現在増築中。通路等においてもスペースの確保ができるよう今後も工夫して取り組んでいく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1			個別支援計画書の内容に基づき、計画を実行しその内容をご家族も交えて会議を開く事により、振り返りを図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1			毎回年度末にアンケート調査を実施し、保護者様の声を繁栄させる機会としている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	4	1	1	4	1	1	1	1			ホームページの開示とともにいつでも閲覧できるようにファイリングしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	4	3	1	2	1	4	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 開設2年目のため、まだ外部評価をうけていない コロナ禍で第三者の介入が難しいところがある 第三者による外部評価が今年度実施されたか分からない 	職員の意見と同様に外部評価を実施できておらず、今後実施の検討が必要。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			毎月行っている会議に合わせ実施し、他事業所への見学等、行っている。	

	評価者	管理者	徳永	寺崎	堤	山内	大賀	藤本雅	石隈	山崎	野田温	宮島	藤川と	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
																チェック項目
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上通所支援計画を作成しているか。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		個別支援会議を開催することで保護者様の想いを伺いながら利用者様に対してのアセスメント、分析を図り計画を作成している。	
	10	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	2	1	1	2		1	1		<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたアセスメントツールは使用できていない 標準化されたアセスメントツールは使用していない 	利用者様個別支援計画書を作成し基本情報やカルテ内から情報収集を行い担当によりアセスメントを行い支援を行い評価する。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	1	1	1	1	1	1		1	1			相談支援員やサービス管理責任者、機能訓練担当職員の意見や指導をいただきながら連携を図っていった。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	1	1	1	2	1	1	1		1	1		<ul style="list-style-type: none"> ひとりずつ個別化したプログラムでありきたりになりがち。 	利用者様の状態に応じながら立案してはいるものの、固定化されている部分があることは否めず、今後の課題とする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	1	1	1	2	1	1	2		1	1		<ul style="list-style-type: none"> 平日と休日、休暇の個性は厳密には難しいと感じる。 きめ細やかな設定は出来ていない事もある 	日中活動支援計画書を作成し支援をおこなってはいる。休日は利用者皆様が楽しめるようなイベントを立案し取り組んでいる。
	14	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ通所支援計画を作成しているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1			利用者様個々の状況に応じ1日のプログラムを臨機応変に切り替え個性を重視した支援にあたるようになっている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1			リーダーを中心にその日の職員の動きを確認してはいるものの、送迎などで外している職員もいるため一同に介しての確認作業はできておらず、個人でのやり取りにて確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	2	1	1	1	1		1	1		<ul style="list-style-type: none"> 支援の振り返りは毎回できていない 	申し送りノートやメール、ヒヤリハット報告書等の報告書を通して共有を図っている。	

	評価者	管理者	徳永	寺崎	堤	山内	大賀	藤本雅	石隈	山崎	野田温	宮島	藤川と	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> 記録はとっているが、検証は十分にできていない 実際に見聞きしたことをきちんと文字にして記載できているかが不十分を感じる。 	利用者様には連絡帳を持参していただき、支援した内容を記載し記録として残している。また、その内容を個別支援計画への反映を図っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			定期的にモニタリングとして振り返りを行い、必要性の判断を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			ガイドラインに添った支援をおこなっている。
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			利用者の状況を把握している職員が出席出来るように日程調整を図っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画)・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			随時対応・検討している。
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			利用中の様子は医師へ定期的に報告書として状況を伝達し、指示書作成・更新を医師へ依頼し看護指示書を基に支援にあたっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	1	3	1	1	1	2		4	1	<ul style="list-style-type: none"> 就学前の事業所との情報共有はできていない 十分には行えていない 	研修を通して情報交換を行ったりはしているものの、十分な内容を把握するまでには至っておらず、今後検討が必要。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			移行支援会議への参加はもちろん、電話やメールのやり取りを行い情報の交換を図っている。	

	評価者	管理者	徳永	寺崎	堤	山内	大賀	藤本雅	石隈	山崎	野田温	野島	藤川と	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
																チェック項目
適切な支援の提供	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	1	1	1	1	2		1	1		・専門機関の講師による研修も行われているが、日程が合わずに受ける事が	外部講師に依頼して研修を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	2	3	1	3	2	2	1	2		1	1	・コロナ禍のためできていない ・コロナ禍で難しい状況が続いている ・コロナの影響もあり、機会は激減している。	職員からの意見の中にもあるように、コロナ感染症の影響で取り組めておらず、今後検討いく機会はある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	1	1	11	4	1	1		4	1			参加させてもらっている。
	28	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1			送迎の時のやり取りやメールのやり取りなどで伝達を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	4	3	1	4	1	2		4	1		・保護者の考え方や自閉症についての知識はさまざまで、安易に事業所が介入することができないと感じている ・積極的には行っていないが、個別支援会議の時などに関わりの中での成功事例を伝える事もある。	質問や相談、会議等の場で必要と思われる時には指導、助言を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1	4	1	1	1	1	1		1	1			契約をいただく際に時間をかけて行っている。また、質問があれば適宜対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	1	1	4	1	1	1	1	1		1	1			質問・問い合わせがあれば適宜対応している。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	4	2	2	1	1	2		4	1		・コロナ禍により積極的にはできていない ・コロナの影響もあり、連携の機会を作れない状況である。 ・コロナ禍で開催出来ない状況にあると思う	保護者会の代替えとなる情報誌を作成しているものの、保護者同士の連携までは至っておらず、今後検討していく必要性あり。	

	評価者	管理者	徳永	寺崎	堤	山内	大賀	藤本雅	石隈	山崎	野田温	野島	藤川と	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	33	利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため十分にはできていない ・迅速に対応はしているが、場合によっては不十分に感じる方もいらっしゃる。 	適宜、事業所内で検討し対応をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	1	1	1	1	1	1	1		1	1			定期的にお便りを発行し、行事予定など発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		充分な配慮を図っている。
	36	利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		電話やメールなどのやり取りで行えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	4	2	2	3	1	2		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため十分にはできていない ・コロナ禍でなかなか地域の方との交流が出来ていない。 ・コロナ禍で難しい状況である ・コロナの影響もあり、実施できていない。 ・コロナ禍で出来ない状況にあると思う 	地域住民を招待するまでには至っていないが、施設周辺のゴミ拾い等、支援活動の一環として取り組んでおり地域に開かれた事業を心掛けている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	1	1	1	2	1	1	1		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差がある。常日頃からマニュアルなどを見る習慣づけが必要。 	全体会議等を利用し、行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		年2回消防署へ要請し訓練を実施している。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		適宜、事業所内で検討し対応をしている。	

